

ハンディキャップ委員会からのお知らせ

当クラブでは皆様のHDCPインデックス算出方法がワールドハンディキャップシステムWHSへ移行いたしました。2022年5月にJGAから以下の通知がございました。

ハンディキャップ規則により、プレーヤーが実際のプレーで使用するハンディキャップは、これまでのコースハンディキャップではなくプレーイングハンディキャップ変更になりました。

プレーイングハンディキャップは、コースハンディキャップに決められたハンディキャップアローワンスを乗じて計算し、端数を四捨五入した整数を用います。

当クラブではプレーイングハンディキャップの適応を12月25日のラストコール杯から使用開始いたします。

その他主な変更点は以下をご参照いただくか、JGAホームページのハンディキャップニュースをご覧ください。

■個人ストロークプレー形式(参加者30人以上アローワンス95%)

クラブ競技全般で実際プレー時に集計時使用するプレーイングハンディキャップ

※クラス参加数が30人未満ではアローワンス100%

※グロス及び新ペリア競技は除外

プレーイングHDCP(端数を四捨五入した整数) = コースHDCP × 0.95

プレーイングハンディキャップの計算に含まれるコースハンディキャップは、以下の計算式で算出します。

コースHDCP = HDCPインデックス × (スロープレーティング ÷ 113) + (コースレーティング - Par)

■異なるティーインググラウンド使用形式(調整不要)

クラブ内競技でパーが同じでプレーする場合(男女混合競技や複数ティーを使用するティーフリー競技)について、今まではコースHDCPにコースレーティングの差を足して集計しましたが、ワールドハンディキャップシステムではコースハンディキャップの計算式にコースレーティングの調整値が含まれているため、異なるティーを使用して競技を行う際、コースレーティングの差を加える必要がなくなりました。

■個人マッチプレー形式(100%)

理事長杯のマッチプレーでは今まで各自プレーヤーのコースHDCPの差に75%調整しておりましたが、100%そのままの差にてマッチプレーとなります。